

東北地区救護施設研究協議大会に参加して

救護施設やしおみ荘 ケースワーカー 丹野 和元

6月19日(火)～6月20日(水)の2日間にわたり、秋田県鹿角市「ホテル鹿角」において、第43回東北地区救護施設研究協議大会が開催されました。今大会は「支援ニーズの多様化に対して救護施設の果たすべき役割を考える」というテーマのもと各公演・発表がなされました。

全国救護施設協議会、大西豊美会長の公演では世界的不況、震災、経済、雇用情勢の悪化、高齢者、障害者が専門施設への受け入れられない実態、また矯正施設から退所したあと、自立した生活を営むことが困難な者、失業者、生活困窮者にとっての最後のセーフティネットとして救護施設の在り方を実感させられるものとなりました。

生活保護に陥ることで中々、脱却出来ず、生活保護者が減らずに増える一方の状況で、困窮者が制度を知らずに地域に置き去りにならないように救護施設が積極的に出向いて相談に乗り、伴走して制度・社会復帰に結びつけられるよう、最終的には生活保護に頼らないような取り組みを行なっていくこと等、今救護施設が求められている役割を十分に学ばせて頂きました。

第2分科会では「個別支援計画の取り組みと地域生活支援」といったテーマでやしおみ荘は発表する機会を頂きました。

「法人体系と個別支援～荘内生活を継続する個別支援と地域の関わり～」と題して地域生活移行を望まれる方以外で、荘内生活においての社会参加活動、地域交流を通して、荘での生活を継続する方であっても地域住民の一人として尊重される為の



支援の取り組みに視点を当てた事例を発表させて頂きました。質疑応答や助言者のご意見により利用者の満足度がよりいっそう高まるようなアドバイスを頂き、今後の支援にも役立てられるようなものとなりました。

分科会終了後の交流会でも各施設の情報の共有や熱い支援への語りがあってプロとしての姿勢を再認識させられました。今大会に参加・発表という機会を頂きましてありがとうございます。自身の成長につなげ、また利用者に対する質の高いサービスに還元できるように今後より一層努めていきたいと思えます。

寄付を頂いた方

佐藤理容所 様

これからの予定

やしおみ荘

- 7月
- ◎社会性自立支援 20日(金)
- ◎ハートフル・イン やしおみ 23日(月)
- 8月
- ◎夏まつり 5日(日)
- ◎夏季一時帰省
- ◎未帰省者食事会
- 9月
- ◎日帰り旅行A
- ◎日帰り旅行B

◎日帰り旅行C

ふじみの園

- 7月
- ◎男子日帰り旅行 13日(金)
- ◎フレンドリーシップ inふじみ 10日(火)
- ◎女子日帰り旅行 24日(火)
- ◎総合防災訓練25日(水)
- 8月
- ◎未帰省者外出

9月

- ◎ふじみの森フェスティバル

虹のかけはし

- 7月
- ◎保護者との懇談会
- ◎かしま荘祭り
- 8月
- ◎お盆休暇 13日(月)～15日(水)
- 9月
- ◎旅行

ワークセンターしおさい

- 7月
- ◎保護者との懇談会
- ◎お盆休暇 13日(月)～15日(水)

- 9月
- ◎旅行

児童デイサービスチャーむ

- 7月
- ◎七夕
- 8月
- ◎カレー作り
- ◎スイカわり

9月

- ◎敬老の日プレゼント作り
- 天真庵
- 7月
- ◎保護者との懇談会
- ◎お盆休暇 13日(月)～15日(水)
- 9月
- ◎旅行

編集後記

夏と言えば一番に思い浮かぶのは祭り！祭りには夏の暑さを吹き飛ばすようなパワーを感じます。やしおみ荘では、毎年8月に夏祭りを行っています。盆踊りに歌謡ショー、大抽選会そして締めは

夜空に広がる大輪の花火。去年は、震災から自粛した花火大会でしたが、今年には行なう事となりました。花火の打ち上げは、活気を取り戻し歩んでいる証として、夜空を彩る事でしょう。